

## ＜国語＞ 改善のポイント

### （1）現状・学習効果測定の実績

- ・観点別正答率や問題の内容別正答率では、学年ごとに目標値の到達度にばらつきが見られる。4・5学年は、物語や説明文の内容の読み取る力が高い。6学年は、言葉の特徴や使い方の理解が高い。
- ・全学年に共通する事項として、学習した漢字を使うことや、文章を書くことに課題が見られる。指定された長さの文章を書くこと、調べたことをもとに文章を書くことに課題がある児童が多い。また、自分の思いを文章で表現することが苦手な児童が多いことから、語彙力にも課題があると考えられる。

### （2）課題

1	漢字の読み書きや言語の習得に課題がある。
2	構成を考えたり、正しい文法を使ったりして、文章を書くことが苦手である。
3	中心となる言葉や内容を意識しながら、文章を読むことが苦手である。

### （3）授業に取り入れたい改善策

1	多様な本に触れさせたり、国語辞典の活用や、詩や俳句、短歌を作ったりする活動を通して、語彙力を養う。
2	作文や日記、ワークシートなどを取り入れ、構成メモを作成し、正しい文法や文章を書くようにする。
3	文章の内容や要旨を理解できるように、繰り返し出てくる言葉や接続詞に注目させる。

R	5	観 点		
学 年		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名の読み書きを習得した。</li> <li>長音・拗音・促音や「はをへ」の学習を行ったが、文章で正しく使うことは経験が少ない。</li> <li>音読が逐次読みになる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムよく読んだり、会話文を人物になりきって読んだりするなど、工夫して読むことに慣れてきた。</li> <li>自分の意見は積極的に発表するが、他者の意見は聞くことができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名やカタカナの学習に意欲的に取り組むことができている。</li> <li>自分の思っていることや考えていることを積極的に伝える児童が多い。</li> <li>読み聞かせに興味をもって集中して聞いている。</li> </ul>
2	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本やお話、なぞなぞなど、言葉遊びを通じて、多くの言葉に触れさせる。</li> <li>学習した言葉や漢字を文の中で使えるように、繰り返し練習する機会を設ける。</li> <li>日記や作文、連絡帳に宿題や簡単な連絡を書くなど、日常的に書く活動を多く取り入れ、習慣化する。</li> <li>年間を通して「かくったのしいね」に取り組み、文章を書くときのきまりを身につけさせる。</li> <li>絵を掲示してイメージをもたせてから音読の学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しやすい話題から人前で話す経験を多く設定する。</li> <li>ペア学習を取り入れ、全体の前で発表するために自信をつけさせたり、友達の意見に多く触れさせたりする機会を設ける。</li> <li>大事なことを落とさずに聞き、質問をしたり、感想を言ったりする場面を設ける。</li> <li>児童が書いた文章を読み合い、よいところを共有する活動を多く設定する。</li> <li>音読や動作化で場面の様子や登場人物の気持ちを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遊びを通じて、様々な言葉に興味をもたせる。</li> <li>日常の中で伝え合い、フィードバックしあうことで、共感的な環境を整え、伝えたい、他者の意見を聞きたいという意欲をもたせる。</li> </ul>
2	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字やカタカナを正しく書くことや、送り仮名の正しい付け方に課題がある。</li> <li>話し言葉と書き言葉の使い分けに課題がある。</li> <li>文法、拗音、長音などの定着には、個人差が見られる。</li> <li>語彙数が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面や登場人物の気持ちを想像して、工夫して音読できる児童が多い。</li> <li>自分の考えを伝えられる児童が多い。</li> <li>友達の発表を聞いて、発表のよいところや自分の考えを伝えることができる。</li> <li>話し合い活動で、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることが難しい児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの児童は漢字の学習に意欲的に取り組むことができている。</li> <li>読書が好きな児童が多い。司書から紹介された本や、授業で学習したことに関連する本を率先して読んだり、聞いたりしている姿が見られる。</li> </ul>

	<p><b>改善のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中で既習の漢字を使うよう指導し、漢字の定着を図る。</li> <li>・書いたものの読み返しや友達と文章を推敲する機会を設け、見直しができるようにする。</li> <li>・順序や丁寧な文章の書き方に注意し、文章を書けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的にスピーチや音読の練習等を通して、聞き手に伝わるよう工夫する機会を増やす。</li> <li>・話し合い活動を取り入れ、他者の伝えたいことを理解する機会を増やす。「話す・聞く」ポイントを提示し、聞くときに、質問したり共感を示したりすることが大切であることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から習った漢字を使って文章を書くように意識付ける。正しい筆順・字形で書けるようにする。</li> <li>・学級文庫を充実させたり、授業に関連した本を集めたりするなど、環境を整える。</li> <li>・視写や作文に取り組み、文章で表現することの楽しさが味わえるように指導する。</li> </ul>
3	<p><b>現状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しく書くことや送り仮名の正しい付け方の定着に課題がある。</li> <li>・文章を書く際の句読点の付け方、「こそあど言葉」や「接続詞」の使い方・段落の理解があいまいである。</li> <li>・語彙数が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手意識が低く、伝えたいことを分かるように伝えられない児童もいる。</li> <li>・話を最後まで聞けない児童や話の中心を聞き落としている児童がいる。</li> <li>・少人数（2～4名程度）の話し合いで、司会進行が苦手な児童もいる。</li> <li>・作文・俳句など短文であっても書くこと苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせが好きな児童が多い。読書量や選ぶ本の種類に差はあるが、読書が好きな児童が多い。</li> <li>・漢字の練習（漢字ノート）や定着に差がある。</li> <li>・読書が好きな児童が多い。司書から紹介された本や、授業で学習したことに関連する本を率先して読んだり、聞いたりしている姿が見られる。</li> </ul>
	<p><b>改善のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み方や成り立ちを確認し漢字に興味をもたせるようにする。</li> <li>・スピーチや短作文を定期的実施し文章表現に慣れるようにする。</li> <li>・国語辞典を日常的に活用する習慣を身に付けさせ、言語に慣れ親しむ環境を整える。</li> <li>・語彙数を増やしたり、文章構成など多様な表現の仕方を学んだりするために、本を読む機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き方名人を使って聞く姿勢を常に意識させる。学習の中で、少人数での話す、聞く活動を取り入れる。</li> <li>・家庭学習で短作文を書くことを継続する。</li> <li>・組み立てを意識させるために、文章の構成メモを活用する。</li> <li>・書いた文章を読み合い、よいところを見つけて認め合う活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動や読み聞かせの時間を確保する。読み聞かせをした本やおすすめの本を教室に置く等、読書量が少ない児童が本を手取る工夫をする。</li> <li>・物語が書かれた本に出会わせられるよう、図書館の時間に司書の方におすすめの本やシリーズを紹介していただく。</li> <li>・音読（家庭学習）や言葉遊びを通して、語彙を広げる。</li> <li>・毎週1～2回漢字の小テストを行い、定着を図る。</li> <li>・児童の興味関心をもとに単元計画作成し、意欲が持続するようにする。</li> </ul>

4	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・書くことの項目に大きな課題が見られる。</li> <li>・物語文も説明文もどちらも読み取る力はある、文中から読み取り考えることができる。</li> <li>・ノートや作文、新聞づくり等の書くことに関して、習った漢字を使うことに課題がある。漢字や効果的な表現を使うことが課題である。</li> <li>・ローマ字の読み書きに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・話を聞いてメモをする時に、聞いたことをもとにメモに書くことができる。</li> <li>・一方で、調べたことや聞いたことから構成立ててまとめたり、自分の考えを取り入れて書いたりすることには課題が見られる。</li> <li>・話し合いをするが、共通点や相違点を伝えるための聞き方に差が見られる。</li> <li>・情報と情報を見比べて関係を考え、それを支える事例との関係について考えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を下回っている。</li> <li>・読書時間や漢字定着に差がある。</li> <li>・自主学習で授業の予習や、漢字の練習を行っている児童が少ない。</li> <li>・音読する力に差がある。</li> <li>・学習への関心に大きな差が見られ、苦手意識をもっている児童がいる。</li> </ul>
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く力を付けるために、毎日日記等の書く機会を設ける。</li> <li>・読書活動の推進や国語辞典を使った意味調べの学習を通して、語彙数を増やし、更なる表現力の向上に努めていく。</li> <li>・漢字の書きについては、定期的に小テストやまとめのテストを行い、定着を図る。前学年の漢字や1学期の漢字も復習し、繰り返し取り組み、補っていく。</li> <li>・ローマ字を活用した学習を取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や自主学習のノートを教室内に掲示し、様々な表現の仕方を知り、活用できるようにする。</li> <li>・構成立てて考える経験を増やすために、まとめる活動を多く設ける。</li> <li>・ペアでの対話やクラス内で自由に話し合ったり書いたりする場面を設け、自分の考えを発表することに自信をもたせていく。</li> <li>・ハンドサインを活用し、友達の話聞く習慣を身に付け、質問や感想が言えるようにする。</li> <li>・登場人物ごとの関係を表等にまとめることで比較できるようにし、関係を考える手立てを設ける。</li> <li>・話の中心となる言葉や文を見付けて要約し、文章の内容を捉えられるようにする。</li> <li>・毎週末の作文や毎日の作文への取り組みを継続していく。実際の場面や体験を想像したり、生活と結び付けて考えたりして、自分の考えを書くことに慣れるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書への関心が全体的に見ると高い。学年全体で、朝読書等読書の時間を確保していく。</li> <li>・話の中心を意識しながら聞く習慣をつけていく。</li> <li>・漢字練習に繰り返し取り組み、書く楽しさを指導していく。</li> <li>・音読発表会をする機会を設け、相手に伝える経験を増やす。</li> <li>・出来ていることを認めることでよさを理解させていく。</li> </ul>

5	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・第4学年に配当されている漢字を読むことはできているが、書くことに課題がある児童がいる。</li> <li>・連用修飾語についての理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・話し合いの内容を聞き取り、話し手が伝えたいことを中心に捉えることができるが、話し手の工夫を捉えることには課題がある児童もいる。</li> <li>・文章の内容を読み取ることはおよそできている。</li> <li>・文章を書く問題では、内容の中心を明確にして、自分の考えを書くことはできているが、指定された長さで文章を書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値を上回っている。</li> <li>・漢字を書く力に差がある。</li> <li>・語彙力に差がある。</li> <li>・読書量に差がある。</li> <li>・文章を書くことに苦手意識のある児童がいる。</li> <li>・自分の考えに自信がもてず、すすんで発表できない児童がいる。</li> </ul>
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の時間に漢字練習の時間を設け、家庭学習につなげる。また、定期的に漢字小テストを実施し、定着を図るとともに、漢字の力の確認ができるようにする。</li> <li>・国語の学習の中で、修飾語の活用について確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの場で、相手や場に応じた話し方のよさに着目できるように指導する。</li> <li>・文章を書く学習では、伝えたいことを中心に考えながら、指定された長さで書くことを意識させる。</li> <li>・「書く」活動を意図的に取り入れるとともに、例文を示したり、よい作品を紹介したり、友達と交流する機会を設定したりすることで、書き方を理解し、書くことへの意欲をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の機会を増やしたり、辞典を活用する機会を増やしたりして、読書量を増やし、語彙を豊かにしていく。</li> <li>・ペアでの対話やグループ、全体での話し合いに、安心して取り組むことができるようにするために、話型を示したり、ハンドサインを活用したりできるようにする。</li> </ul>
6	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値をやや上回っている。</li> <li>・語句には性質や役割によるまとまりがあることへの理解や、指示語の役割の理解に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値をやや上回っている。</li> <li>・「話し合いの内容を聞き取る」問題では、内容の中心や、話し手の工夫を捉えることはできているが、意見の共通点に着目して、考えをまとめる問題で目標値を大きく下回っている。</li> <li>・「説明文の内容を読み取る」問題では、叙述をもとに文章の内容は捉えることはできているが、中心となる語や文を見つけて要約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習効果測定の結果は、目標値をやや上回っている。</li> <li>・語彙力に差がある。</li> <li>・読書量に差がある。</li> <li>・文章を書くことに苦手意識のある児童がいる。</li> <li>・自分の考えに自信がもてず、すすんで発表できない児童がいる。</li> </ul>

		<p>する力が弱い児童が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• いずれも、記述式の問題の正答率が低く、無回答も多いことから、「書くこと」に苦手意識があると考えられる。</li> </ul>	
改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 辞書を引く活動を通して、語彙を広げる。</li> <li>• 詩や俳句を作る活動を通して、語彙を広げる。</li> <li>• 国語の学習の中で、指示語の指し示すものや接続詞が示すものなどを確認していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 少人数での話し合いの場を設け、自分の考えを伝え、相手の意見に考えをもつ力を高める。</li> <li>• 説明文では、段落ごとの要点をまとめ、要旨を捉える学習を積み重ねる。</li> <li>• 文章を書く学習では、伝えたいことの内容を中心に考えながら書くことを指導する。その際に、文章の構成を意識させる。</li> <li>• 「書く」活動を意図的に取り入れるとともに、例文を示したり、よい作品を紹介したり、友達と交流する機会を設定したりすることで、書き方を理解し、書くことへの意欲をもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 読書の機会を増やしたり、辞典を活用する機会を増やしたりして、語彙を豊かにしていく。</li> <li>• ペアでの対話やグループ、全体での話し合いに、安心して取り組むことができるようにするために、話型を示したり、ハンドサインを活用させたりする。</li> </ul>